

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

6月号(NO45)通巻 195号

2022年6月10日(火)発行(毎月10日)

【農暦】菜園が一番楽しい時季になる！

○今日(6日)は芒種で梅雨とほぼ重なる時季だと云う。関東で梅雨入り宣言が出された
とテレビニュースがあった。稲の種まきの時期でもあった。今では田植えは終り、緑の絨
毯になり始めている。最近は生活の様式の変化もあるが、季節感が合わないことが多い。
昨日との温度差6度とか着るものに戸惑う。身体が順応できない。温度差が10度になる
日もある。半袖から長袖になる。衣替えは少し先になり
そうだ。温暖化は気候の変化が激しくなると云う。

○コロナは緩やかだが収束に向かっているようである。
コロナで変わったものはそのまま元には戻らないと思う
が、萎縮した社会が活性化して欲しい。ウクライナも煽
る世論ばかりであったが、ウクライナの5つのシナリオ
のニュース見て、これから少し変わるのではないかと期
待している。正悪、勝ち負けを超えた論議や知恵が問われるのだと思う。加担でなく火消
しの世論を望みたい。



<花壇>菜園の片隅で5日撮影

○菜園を維持するために草刈りを継続している。春先に草刈りした所が既に繁茂してお
り、そこでキジが卵を抱いていた。そこを刈ってしまった。キジが棲めるほど荒地にし
てしまったことが反省されるが悪い事をしてしまった。獣害が話題になって久しいが鳥獣
側からすれば人間は侵入者なのだ。キジには玉葱の苗や黒豆の芽をやられた。玉葱の苗を
食べないでただ抜いて遊んでるようだ。植え直しを繰り返している内に枯れてしまう。菜
園にとってキジは有難い存在ではない。ケンケンと鳴く声も頂けない。鶯の鳴き声には癒さ
れる。これは人間の勝手な言い分である。

○草払機を電動に替えたので、エンジン始動の苦労が無くなり作
業ロス時間もなくなった。石油を使わないのでCO2が少ない。良い
選択がだったと思う。草繁茂に負けないように頑張りたい。そろ
そろじゃが芋の収穫である。その後は黒豆、小豆の播き時期にな
る。その準備もしたい。トマト、茄子が小さな実を付けている。
これから菜園が一番楽しい時季になる。(了)



<朝採りラディッシュ>21日

【菜農】<畑>絹さや、ラディッシュ、ルッコラの収穫。

草刈りを繰り返し実施。トマトなどの支柱。

【菜市】イベントなど；バードゴルフ総会(22日)地元クリーン活動(28日)詩吟運営
委(28日)共生の会、川柳の会(2日)詩吟例会6月後半再開予定。

【つぶやき=Tweet】 いい仲間と楽しい酒を！昭和が懐かしい！

○先日ジャスコでアサヒのプリン体オフの発泡酒を買った。アサヒドライを好んで飲んで
いたが痛風発症を機にプリン体オフに切り替えた。好きな山の一つに谷川岳があり、春、
夏、秋に、冬にも登った。体力的に最後になると谷川岳を山岳部 OB と一緒に登る計画立
て出発直前に痛風発症し断念したままである。発泡酒の近くの酒棚に三岳のラベルを発見
した。三岳は本格的の登山の最後になった宮之浦岳の屋久島の
焼酎である。美味しかったので東京で買い求めたことがある。
そんなことから酒にまつわる記憶が懐かしく思い出された。

○お酒では、甲斐駒ヶ岳の 3000m の稜線で飲んだワンカップは
最高に美味だった。ワンカップとは思えなかった。爽快な空
気、程よい乾きと疲れなどが、そうさせたのだろうと思った。
帝国ホテル裏のスナックで飲んだ電気ブランデーが安くて美味
だった。だが家で、浅草の神谷バーで飲んだが、さほど美味で



＜キューイの実＞5日撮影

はなかった。札幌すすき野で飲んだ鍛高譚しそ焼酎も美味だった。買って家で飲んだが、
これもさほど美味ではなかった。青森の三沢での田酒、新潟での越乃寒梅もだが五郎八、
天草での麦焼酎天草など美味だった。近くでは笠間稲里の古酒は格別に美味しかった。い
ずれも飲む場所、条件などがお酒の味を決めているように思
う。にがり酒の五郎八は家で飲んでも美味だった。最近では
人気が出たのか 2～3 倍の値がついている。北杜市のサントリ
ーの酒蔵で飲んだ白州の水割りも美味しかった。サントリーで
は山崎が美味だが高価なので今はニッカのお湯割りを飲んでい
る。酒席は好きだが酒は弱いので一杯だけの晩酌である。



＜生育するトマト＞5日撮影

○新宿歌舞伎町のゴールデン街では川柳の会の活動がテレビで紹介された。ゴールデン街
には友人の店がありよく飲みに行っていた。有名女優、袈裟を着た坊主と横並びで飲んだ
こともあった。懐かしい記憶が蘇る。やはり齢をとったのだ。新宿の思い出横丁もテレビ
に出た。ほぼ中央にトイレがあったこと？から“しょんべん横丁”と愛称された。鯨カツ
が有名だった。駅西口の直近にあり、とにかく安く飲め庶民の味方だった。新橋駅前もテ
レビによく出でるが、ここにも新宿の思い出横丁と同じ飲み屋街があった。上野アメ横も
だが戦後のトヤ街からのものである。東京にはいくつもの跡地が姿を変え残っている。新
橋駅前には屋台のおでん、汽車展示台の所には、屋台のラーメンがあった。店が閉まった
夜遅く利用させてもらった。規制が強化されてか銀座・新橋の屋台が姿を消した。屋台は
好きだったので残念だった。昭和終わり頃まで
は粋な店、縄のれん店があり、いい仲間と楽し
い酒が飲めた。昭和が懐かしい。(了)

○断捨離考：断捨離を日常活動にしたい。

【後記】菜園を楽しめたらと思う。【HP転載】

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com